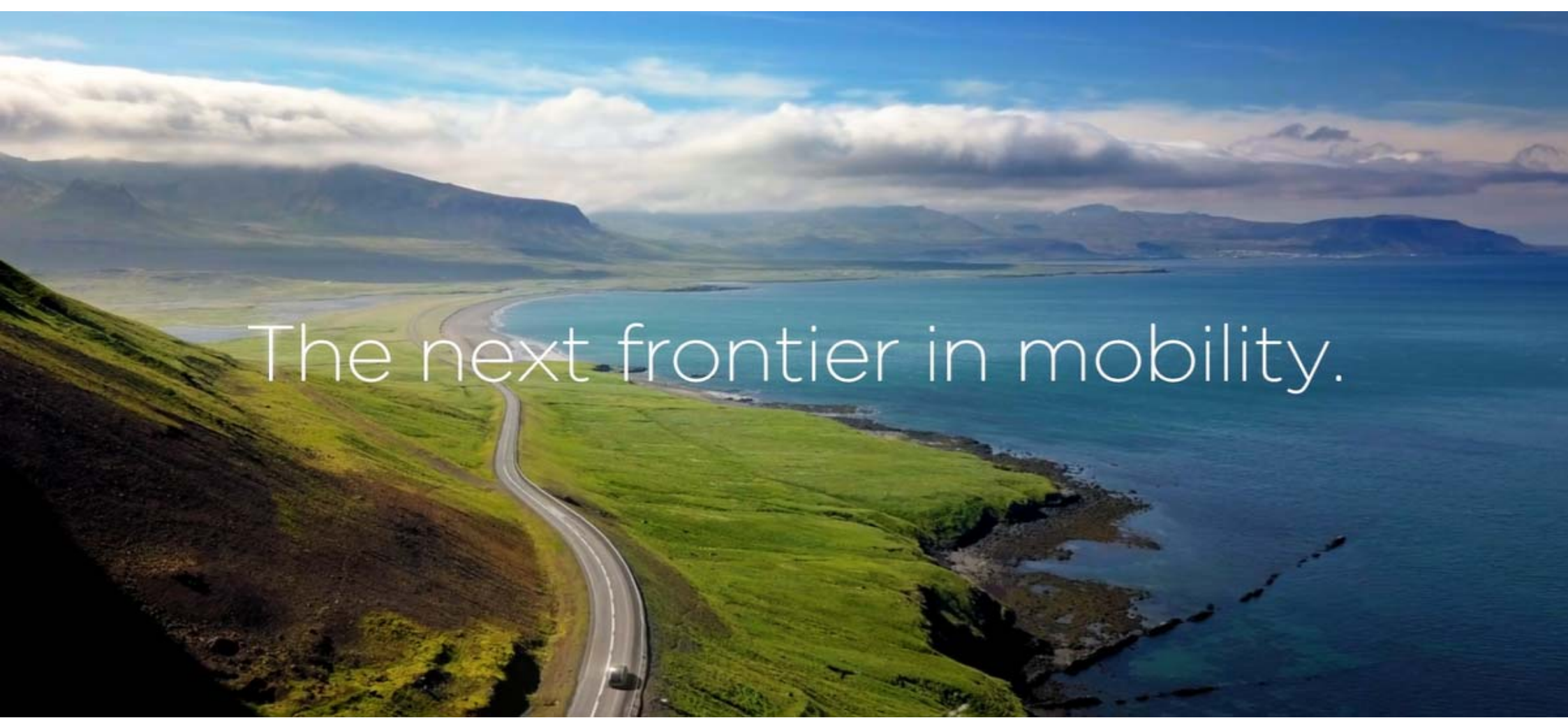




The next frontier in mobility.

持続的成長に向けた中期戦略

2019年10月31日

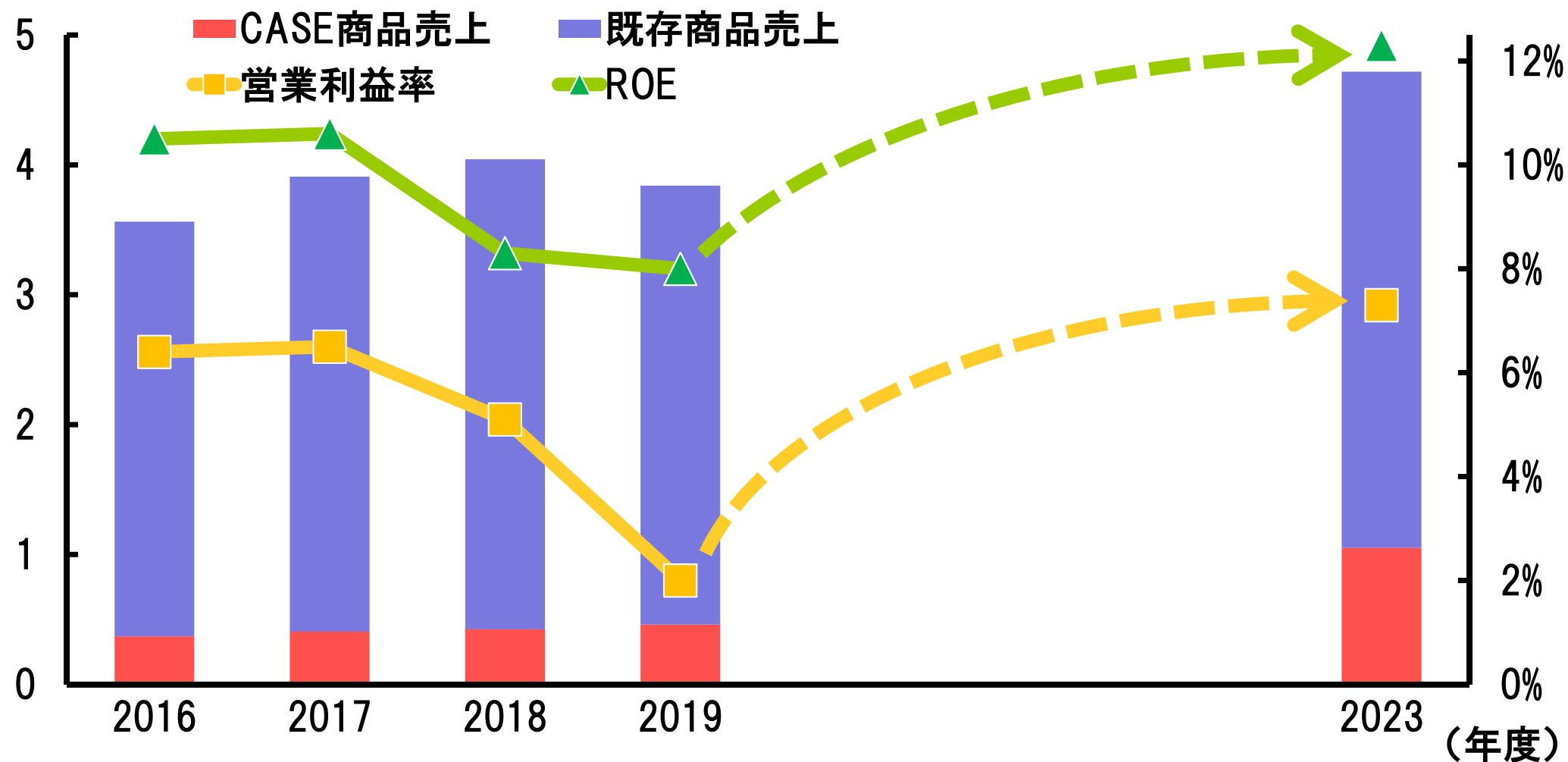
アイシン精機株式会社

取締役社長 伊勢 清貴

中期経営計画 2023年経営目標

2019年度を底に、2023年度に営業利益率7%以上をめざす

(兆円)

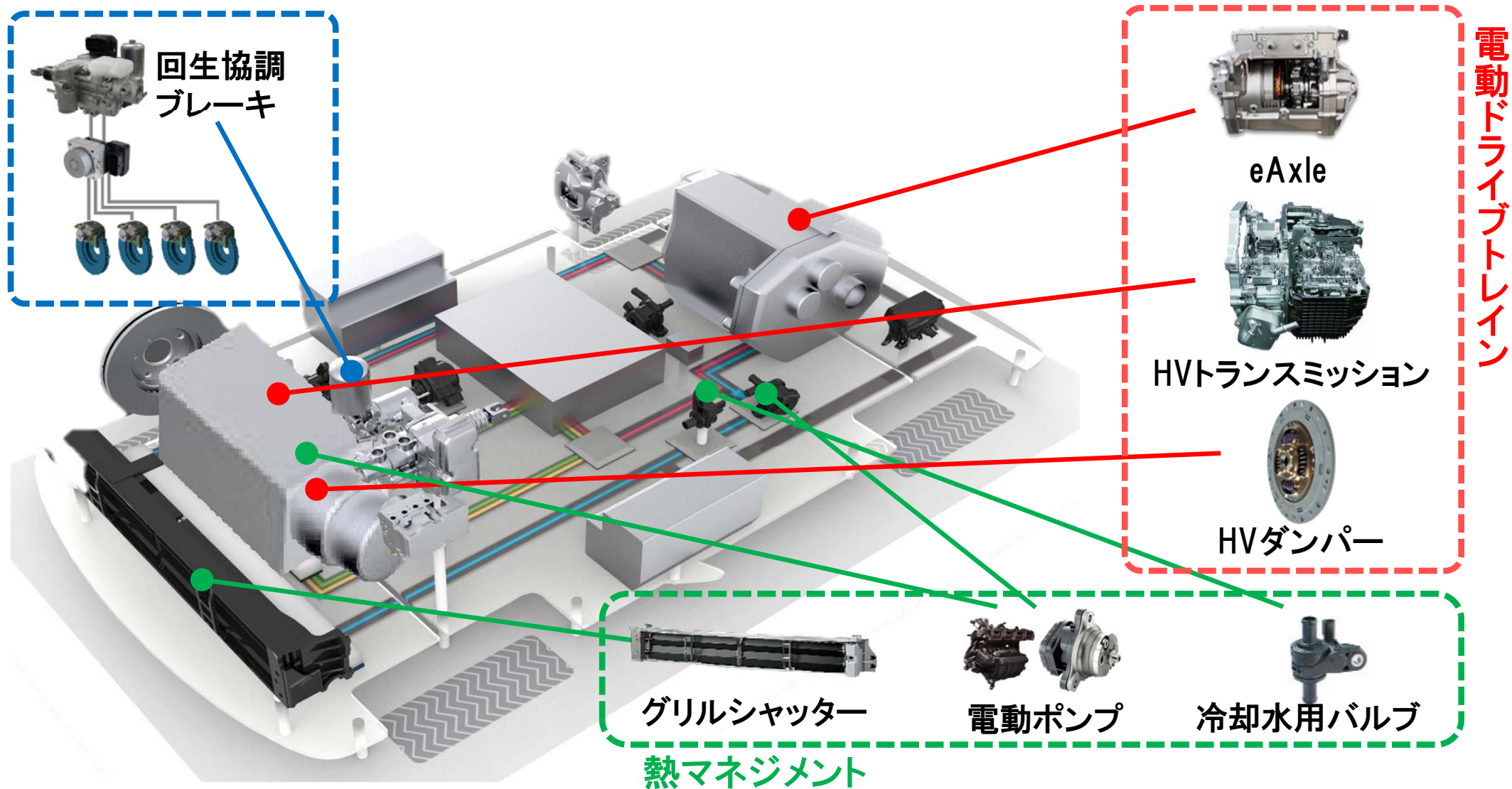


強い危機感のもと課題に対する施策をスピード感をもって推進

重点課題		現況
成長戦略	CASE商品開発・拡販	✓ 電動化商品の受注・引き合いが順調に増加 ✓ アイシングループのキーデバイスを活用した自動運転技術の開発が進展
未来を見据えた経営基盤構築		✓ アイシン精機/アイシン・エイ・ダブリュの合併を決定
企業体質強化	聖域なきスクラップ&ビルド	✓ スクラップ商品の洗い出し、開発リソースのシフトが進展
	徹底的な固定費低減	✓ 74社、100拠点で機能統合アイテムを抽出し、実行フェーズへ

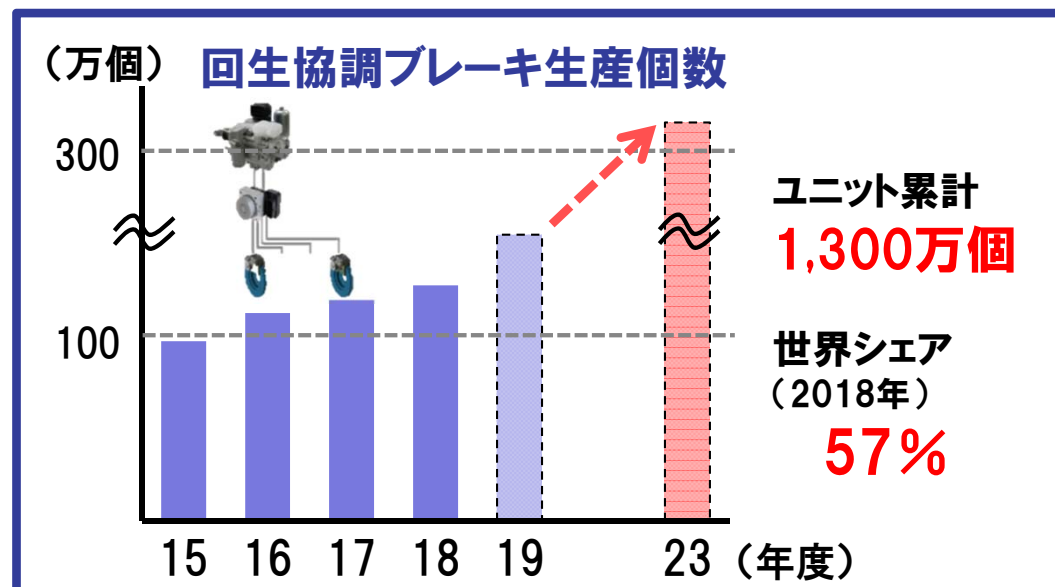
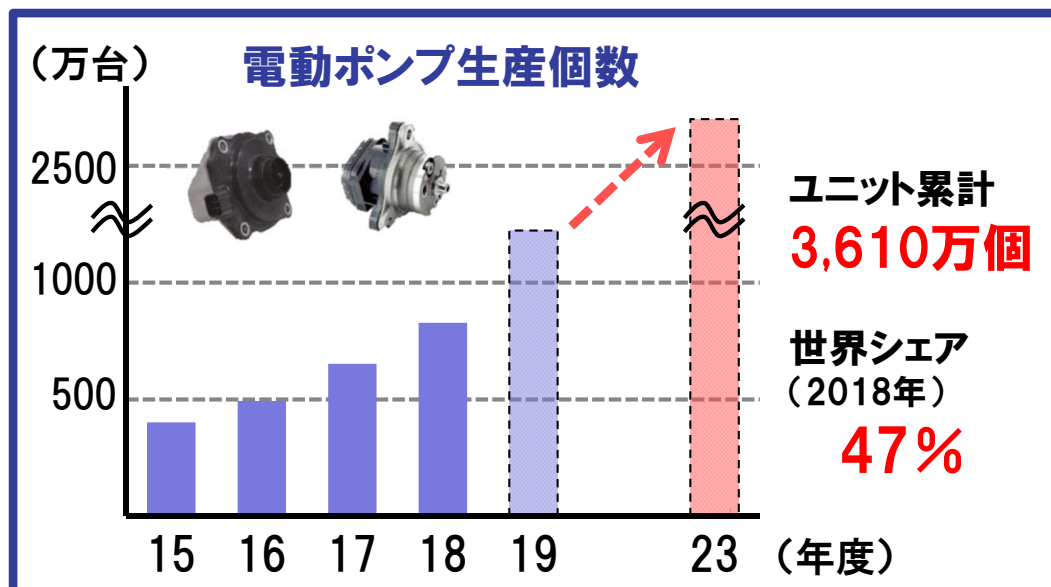
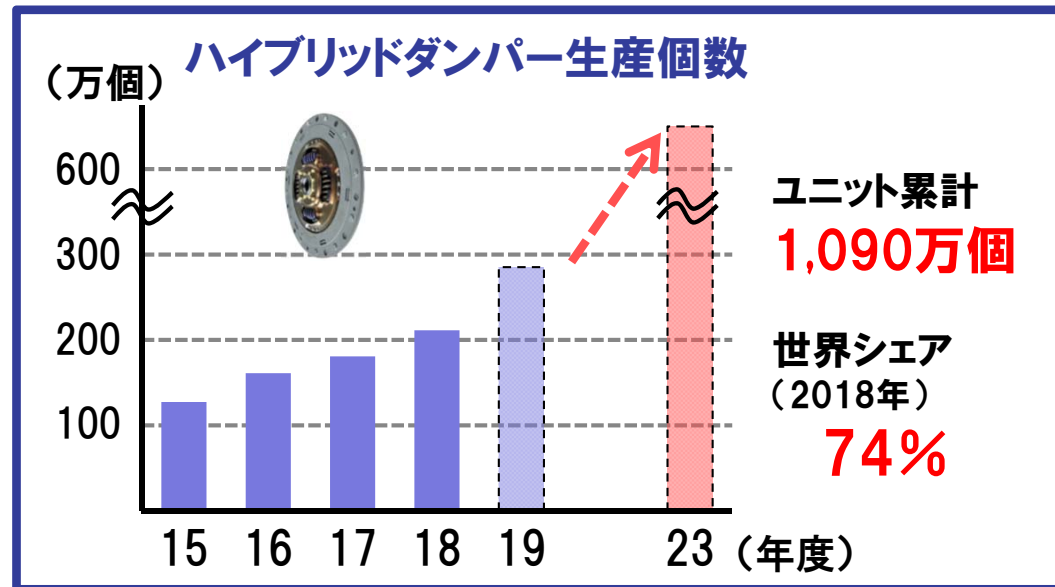
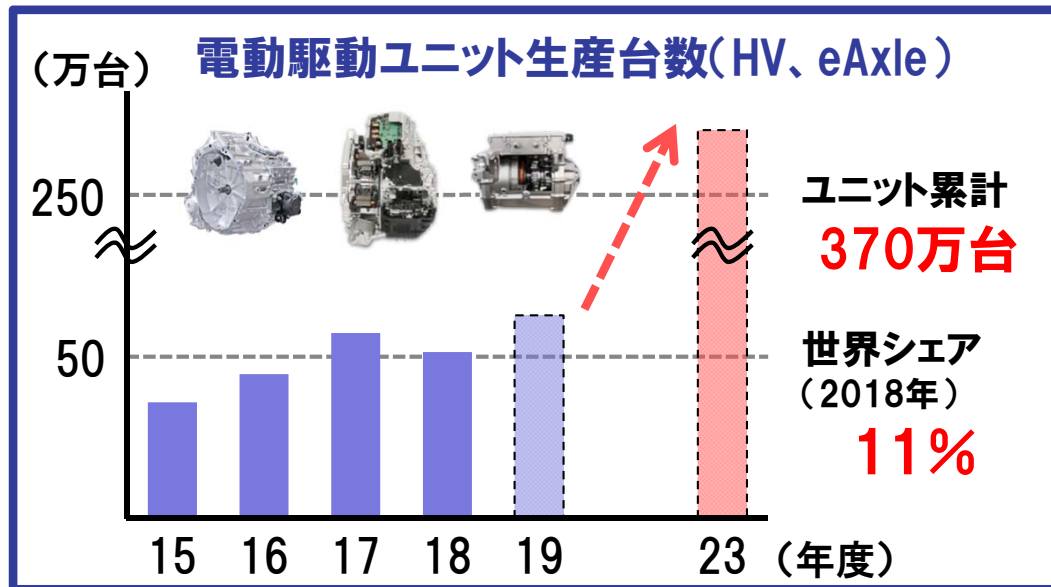
アイシンググループの電動化戦略 電動化商品の拡販状況

様々な電動化ニーズに対応する豊富な商品ラインナップ



アイシングroupのCASE戦略

電動化商品の拡販状況



駆動用モータ開発と生産のあゆみ

モーター生産
の開始



高回転化
平角線
誘導モーター
ギヤー一体ローターシャフト
3枚磁石化



同芯カセット巻線



生産個数
(万個/年)

累積個数
(万個/年)

400

≈

軸芯冷却方式

100

500

累計
約700万個

サプライヤ部門
世界トップ
の生産実績
(アイシン調べ)

'07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16 '17 '18 '19 '25

アイシングループのCASE戦略 電動化の成長戦略

トヨタグループの強みを集め世界中のお客様へシステム提案

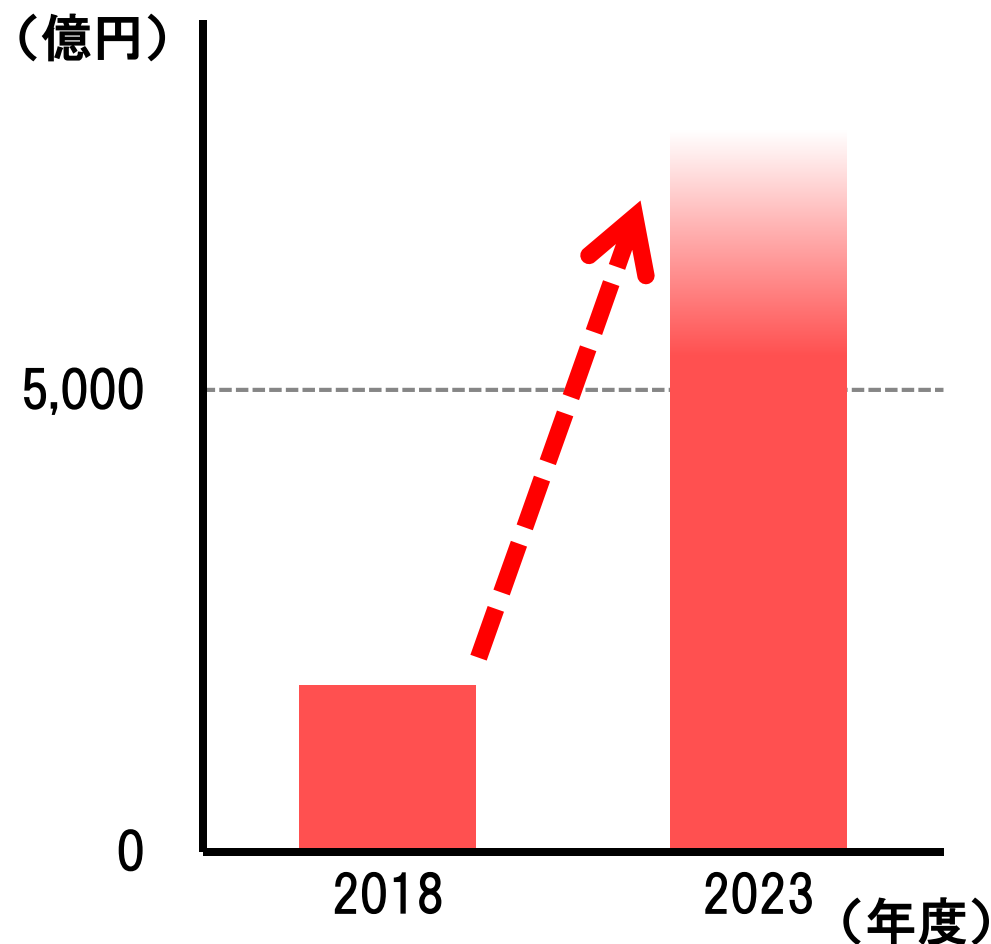


人材集結・交流加速
強みを活かしたより良い設計

システム受け皿一本化
お客様へのシステム提案力で
多くの引き合いを受領

多様な商品・技術力・顧客基盤をフル活用し一気に売上拡大

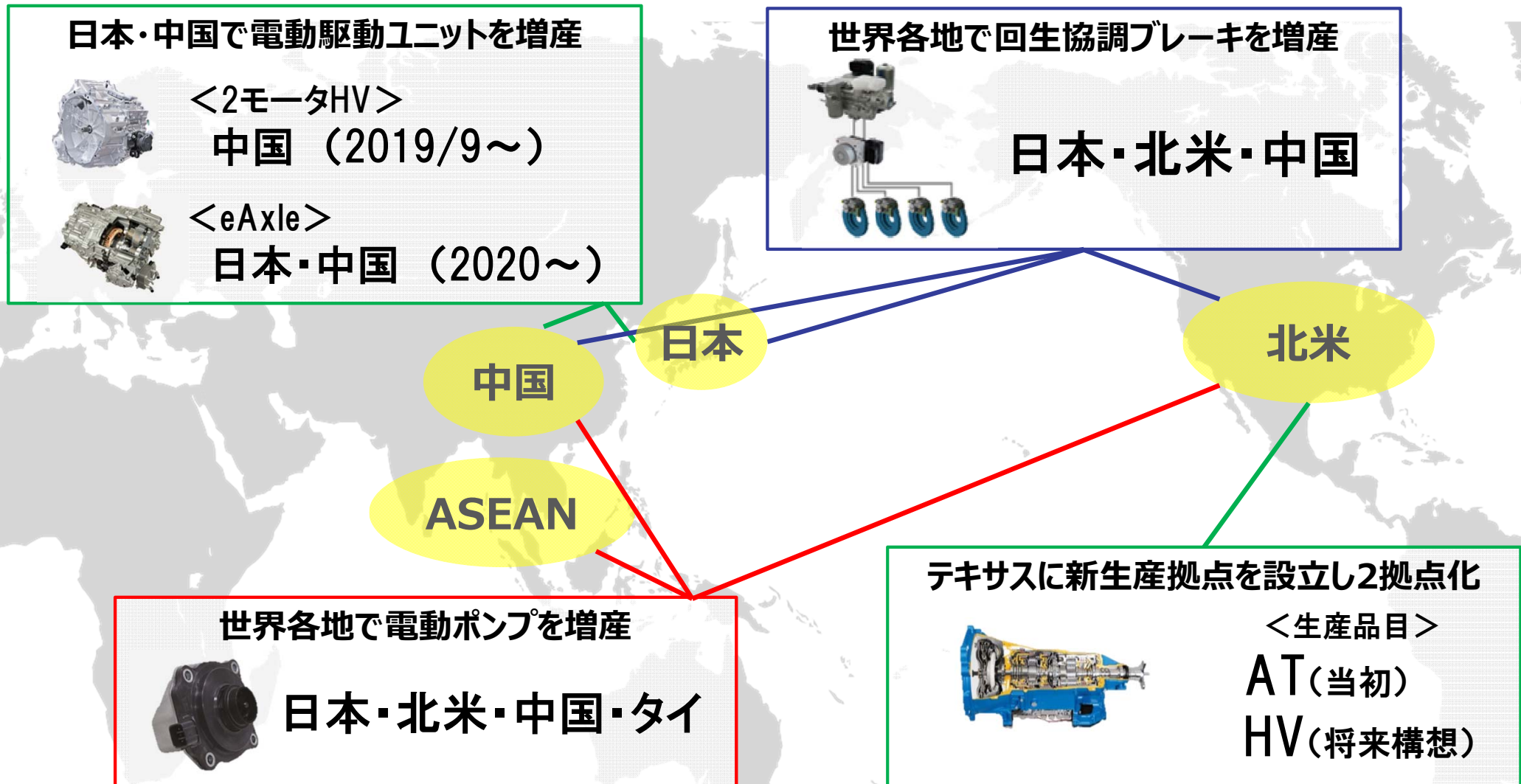
電動化商品販売計画



2020年
トヨタ自動車向けEVにeAxleを投入



電動商品拡販に向けグローバルで体制を強化



アイシンググループのCASE戦略 自動運転の取り組み

『もっと安全に』 『もっと快適に』 『もっと便利に』

認知・認識

重点
取組み
2

判断

実行

アイシンググループの取組み

全周囲カメラ

長距離ソナー

高精度地図

インフラ協調

重点
取組み
1

ドライバー
情報



車室内監視

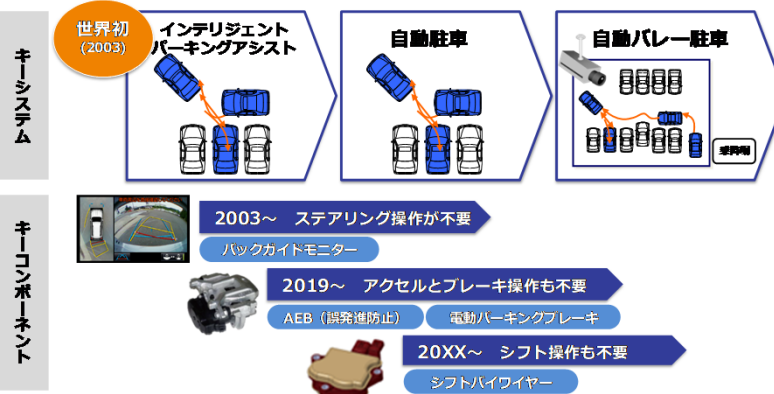
クラウド

LiDAR他



■ 低速域

低速域自動運転



■ 高速域

アダプティブクルーズコントロール

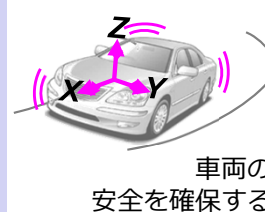
レーンキープ/レーンチェンジ

車両の運動を実行

軌跡(走行計画)
追従制御



車両運動制御



入力
を調
停

軌跡(駐車計画)
追従制御



実際に動かす

走る
パワートレイン



曲がる
ステアリング



止まる
ブレーキ



乗り心地
サスペンション



10年以上の製品実績を活かし数量拡大を目指す

ドライバーモニターシステム(DMS)開発経緯

市場
規模

事故防止のニーズが高い
事業者向け市場へ参入

開発中

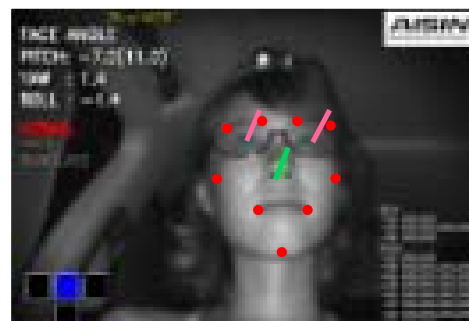
2019
ドライブレコーダー連携DMS



自動運転向けに
高性能DMSを投入

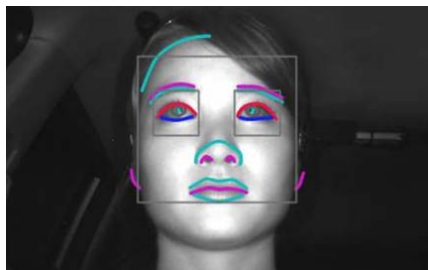
開発中

2020 (予定)
自動運転向けDMS



世界初の製品化

2006~ 顔向き・開閉眼検知DMS



法規化
の動き

ユーロNCAP加点対象

自動運転

2005

2010

2015

2020

2025

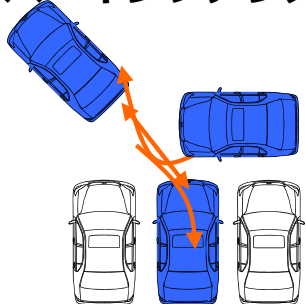
重点取り組み②低速域自動運転

低速域の自動運転に向けたキーコンポーネントの開発を 着実に進め、自動駐車の実現

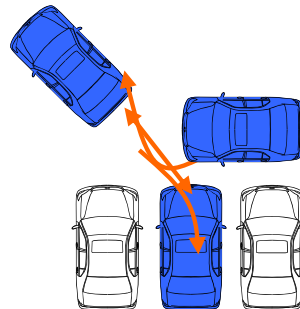
キーシステム

世界初
(2003)

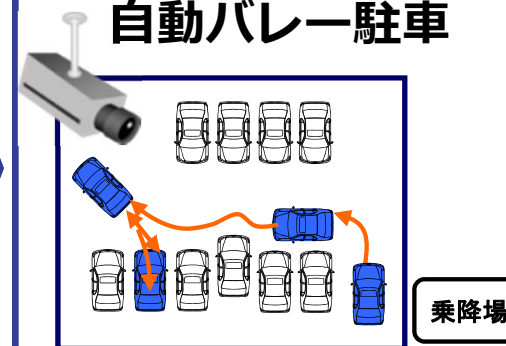
インテリジェント
パーキングアシスト



自動駐車



自動バレー駐車



キーコンポーネント



2003～ ステアリング操作が不要

バックガイドモニター



2019～ アクセルとブレーキ操作も不要

誤発進防止 (AEB)

電動パーキングブレーキ

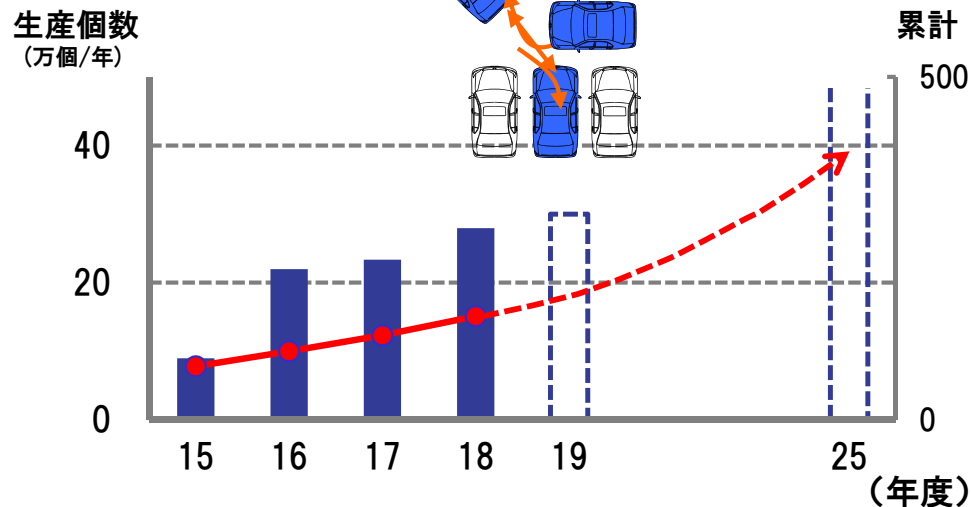
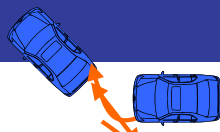


20XX～ シフト操作も不要

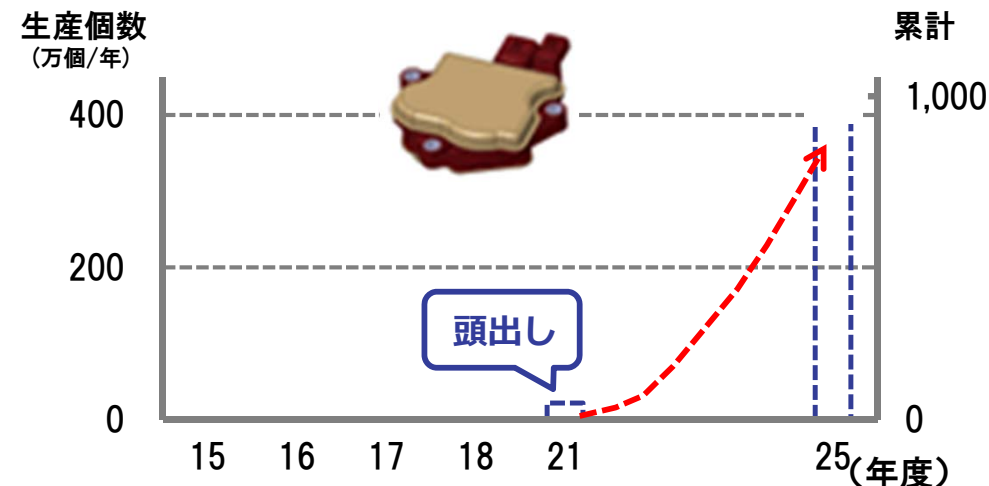
シフトバイワイヤー

重点取り組み②低速域自動運転

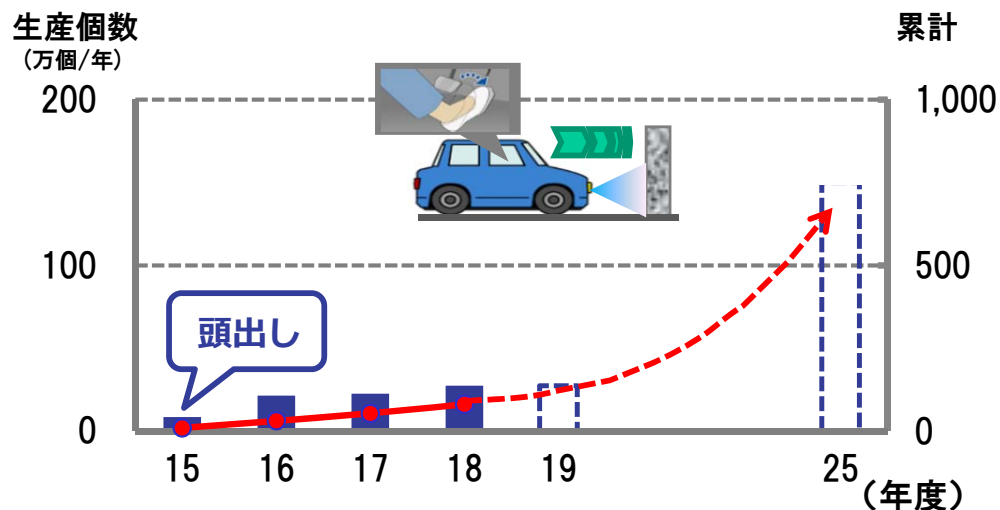
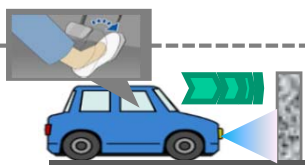
自動駐車 簡単操作



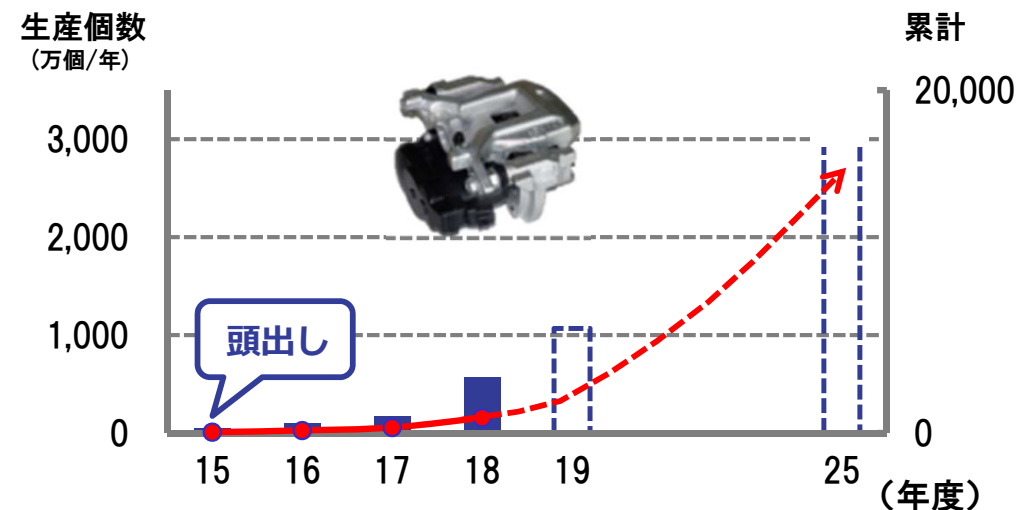
シフトバイワイヤー シフト操作不要



誤発進防止 ペダル踏み間違い時加速抑制

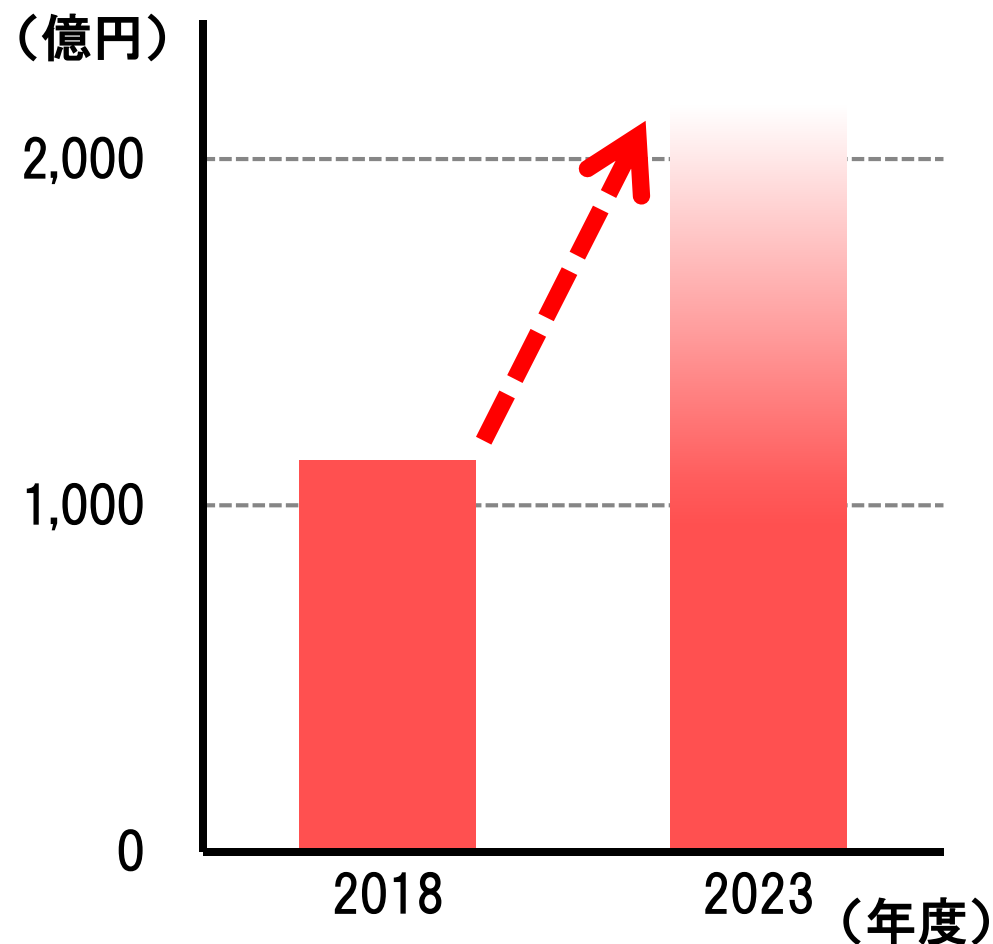


電動パーキングブレーキ パーキング操作不要



多様な商品・技術力・顧客基盤をフル活用し一気に売上拡大

自動運転商品販売計画



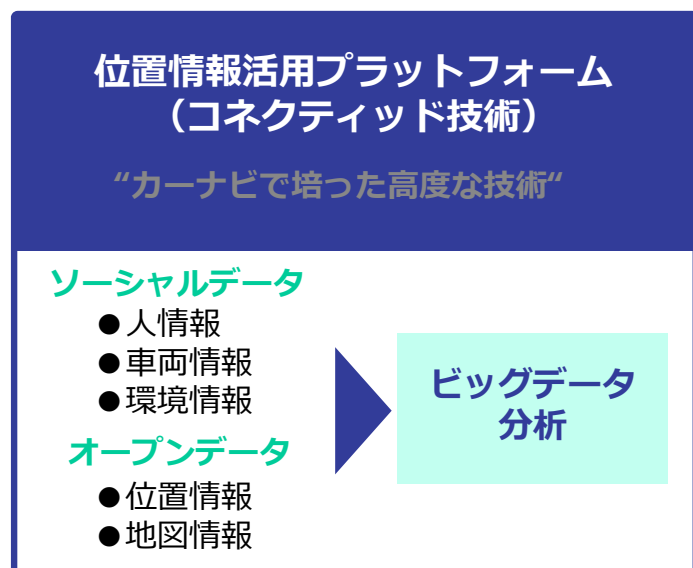
2019年

トヨタ自動車ヤリスに
新たな自動駐車技術が採用



コネクティッド・シェアード/サービスへの取り組み

コネクティッド技術と車載システムにより、 人や社会に寄り添うサービス・コンテンツを提供



コンテンツ



ライフサポート

▶ 運送事業者・小売事業者・モバイル事業者・駐車場業者・カーシェア事業者

部品物流支援



最適運行計画

店舗物流支援



店舗最適カルテ

ナビゲーション



LINEカーナビ

デマンド交通



チョイソコ

モビリティ
サービス

▶ タクシー事業者・オーナー個人・MaaS事業者

リスク回避支援



安心走行ガイド

室内アレンジ



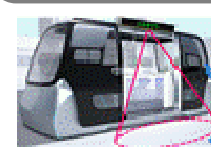
リモートシートアレンジ

開口アレンジ



バリアフリー乗降

乗降乗車監視



見守りユニット/IMS

インフラ支援

▶ 官公庁

情報外販



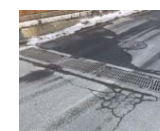
冠水地点情報

情報外販



滑りやすい地点情報

道路補修支援



段差地点情報

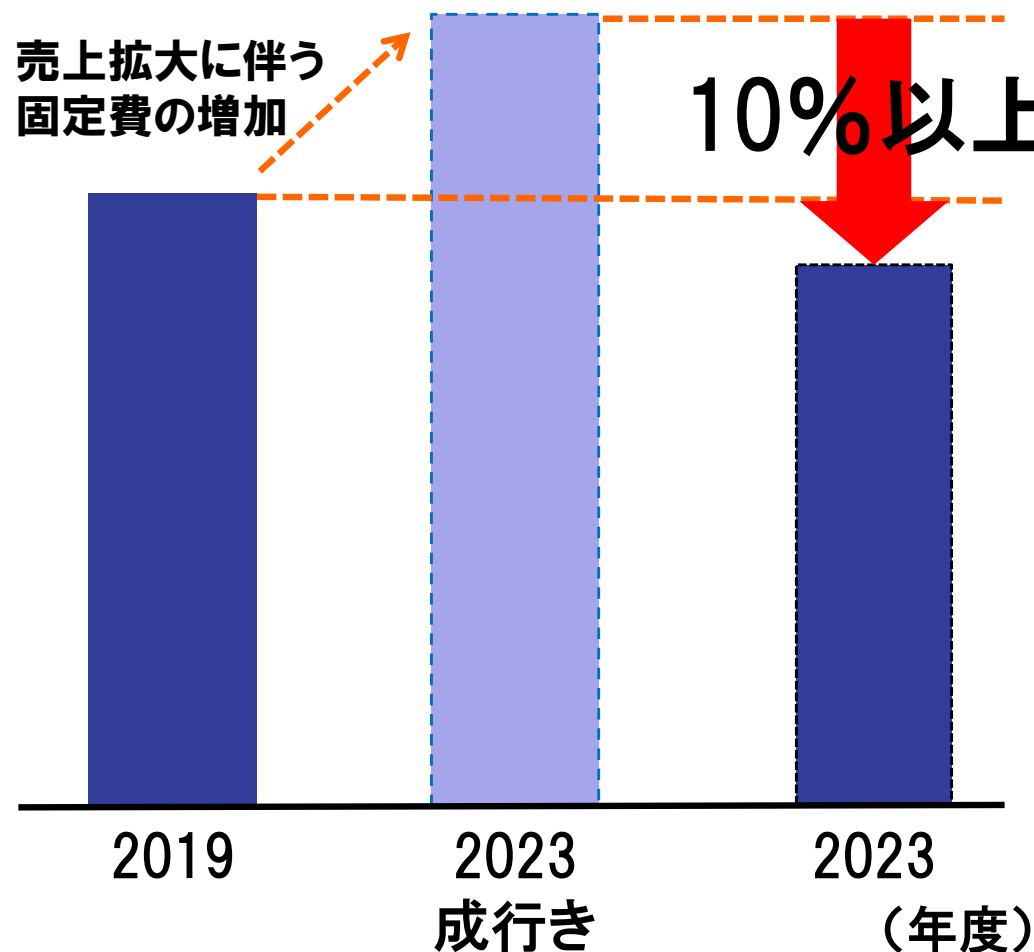
道路補修支援



穴地点情報

目標達成に向けた詳細計画の検討が進捗

固定費(開発費・償却費以外)圧縮の考え方



実施項目

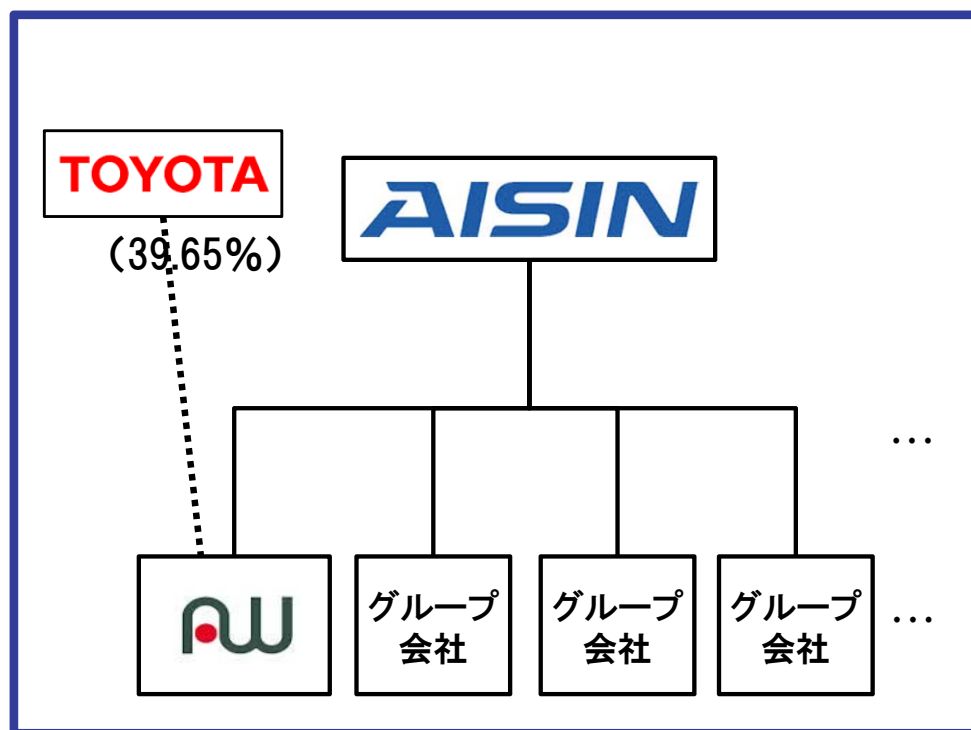
- ・ 未来を見据えた経営基盤構築
(アイシン精機/アイシンAW統合)
- ・ 聖域なきスクラップ&ビルド
- ・ 徹底的な固定費低減 ...

アイシン精機、アイシン・エイ・ダブリュの合併を決定

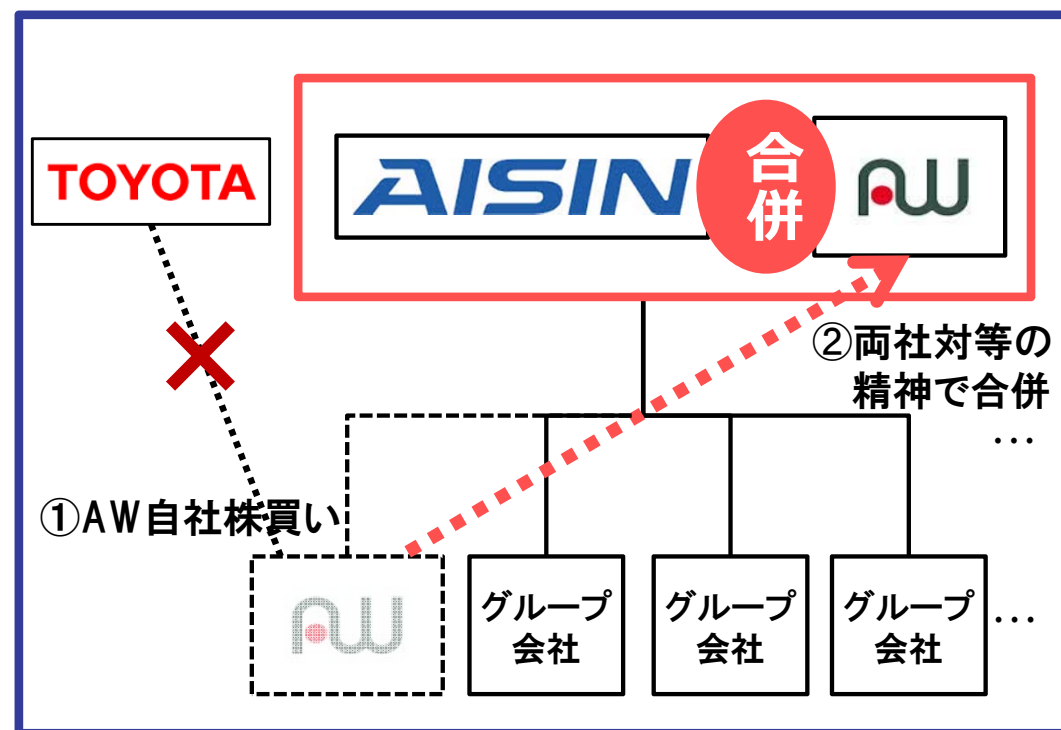
合併手順

- ① トヨタが保有するAWの株式をAWが自社株買いの形で取得
- ② アイシン精機とAWが対等合併(2021年4月1日)

Before



After



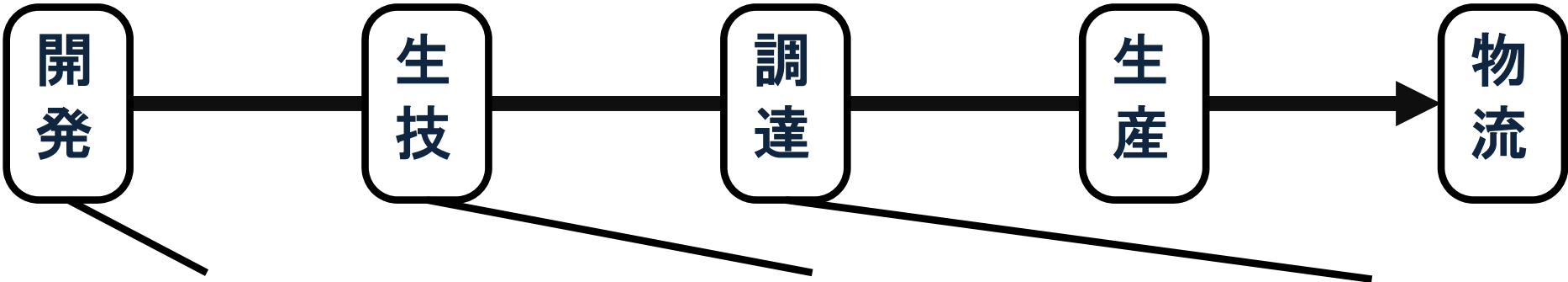
分社経営で非効率な管理部門の徹底的な効率化を進める

- 経理、人事、総務等、重複するアドミニ部門の統合・集約
- 開発、生技、生管、品質等の管理統括部署統合・集約による管理コスト低減
- 業務システムの統合・一本化による維持コスト低減
- 2社間取引に係る営業、調達撤廃

2023年度
目標効果額

300億円

統合による圧倒的な競争力・提案力でCASEへの対応を推進



保有技術・情報を全体で活用し
開発力・提案力を向上

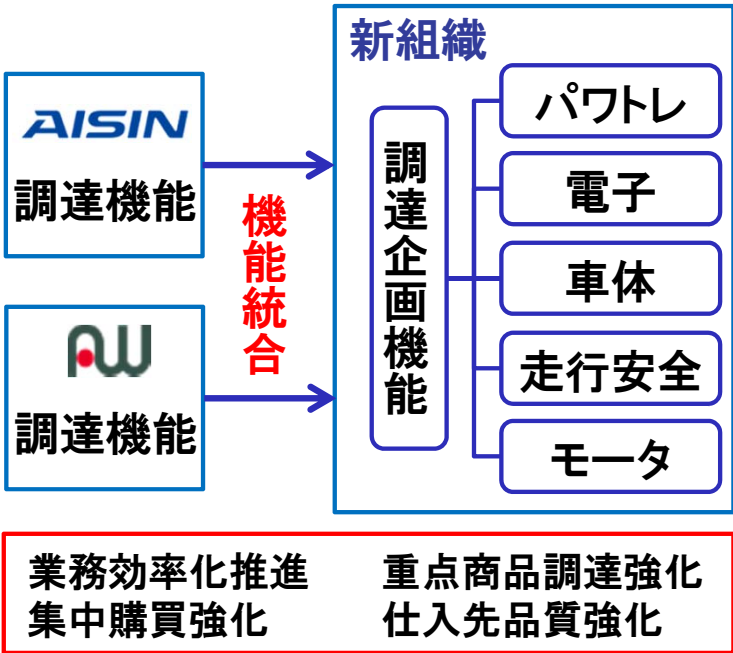
		アイシン 精機	アイシン AW
エンジン	本体	VVT,EWP	
	制御		
T/M	本体	商用	乗用
	変速制御	商用	乗用
モータ	本体	商用	乗用
	インバータ	商用	乗用
	制御	商用	乗用

重複解消・ミックスアップで
生産性を向上

	アイシン 精機	アイシン AW
鋳造	★	○
樹脂成型	○	
板金プレス	★	★
冷間鍛造	○	★
熱処理	★	★
切削	○	★
表面処理	★	
接合	○	○
組立	○	★
設備	○	○

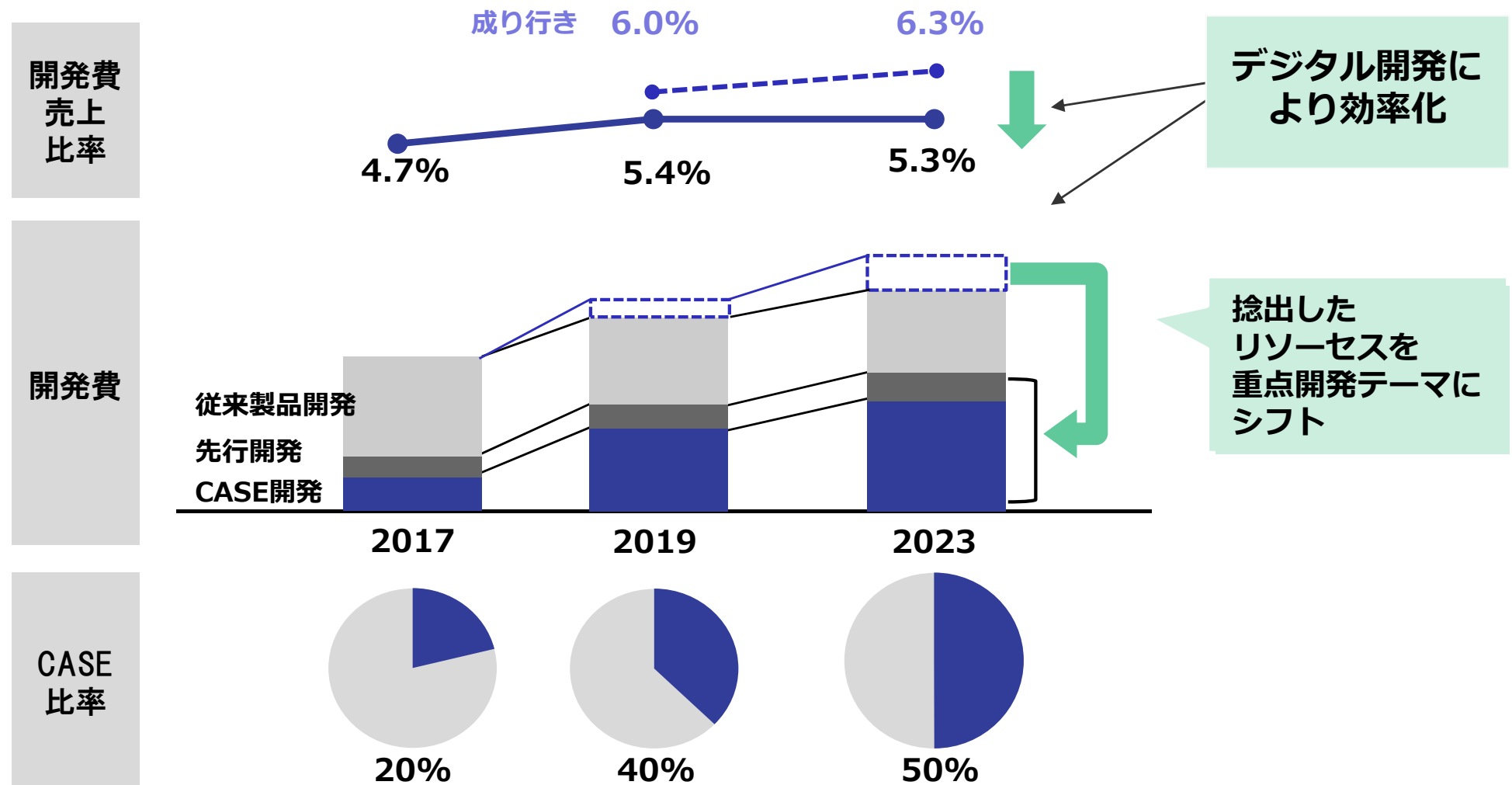
★ 市場TOP技術あり ○ 技術保有

2社の調達を統合(11月より)



企業体質強化への取り組み 事業のスクラップ＆ビルド

スクラップ対象の洗い出しが進み、開発リソースのシフトが進展

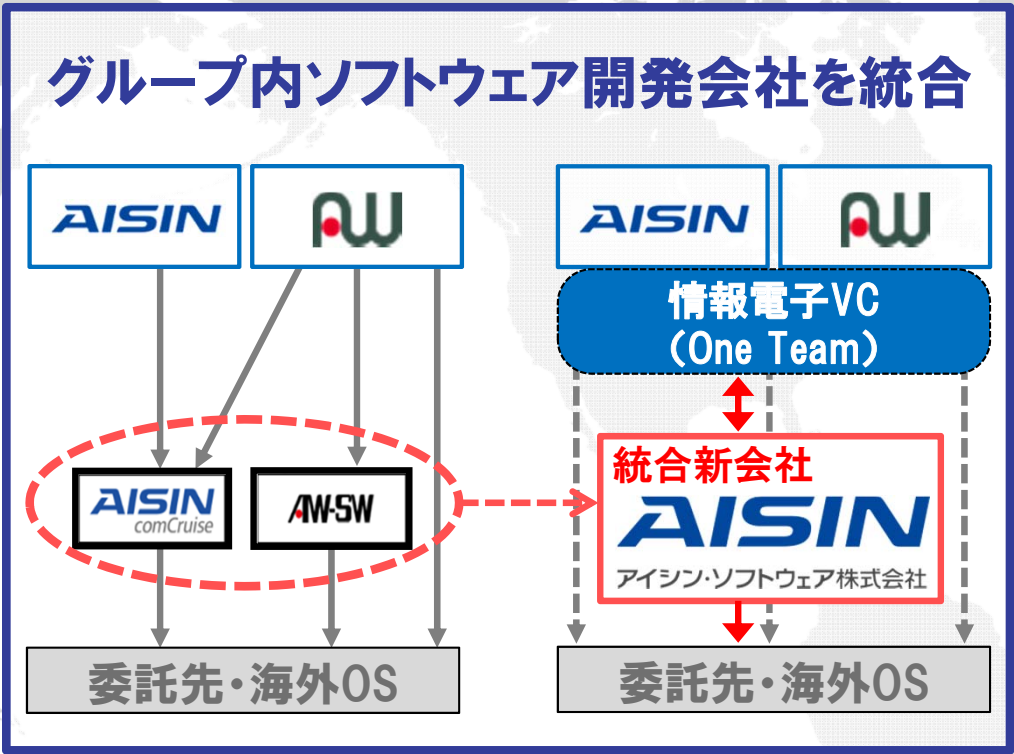


企業体質強化への取り組み
リーンな体制の構築

74社で機能統合アイテムを抽出し実行フェーズへ

	対象会社	アドミニ 効率化	会社・拠点 統廃合
日本	19社	6アイテム	11アイテム
北米	17社	3アイテム	3アイテム
中国	14社	1アイテム	8アイテム
豪亜	15社	2アイテム	3アイテム
欧州	3社	2アイテム	9アイテム
その他	6社	1アイテム	3アイテム
計	74社	15アイテム	37アイテム

事例：機能会社統合による効率化



2023年度
目標効果額

60億円

企業体質強化への取り組み リーンな体制の構築

全ての業務を一から見直し、徹底的な効率化を進める

開発・生産準備の大幅な短縮

デジタル開発の推進



MBDによるバーチャル評価

設計～生産まで3Dデータでの連携強化

生技CAE強化
(モデルベース上で工程の作りこみ)

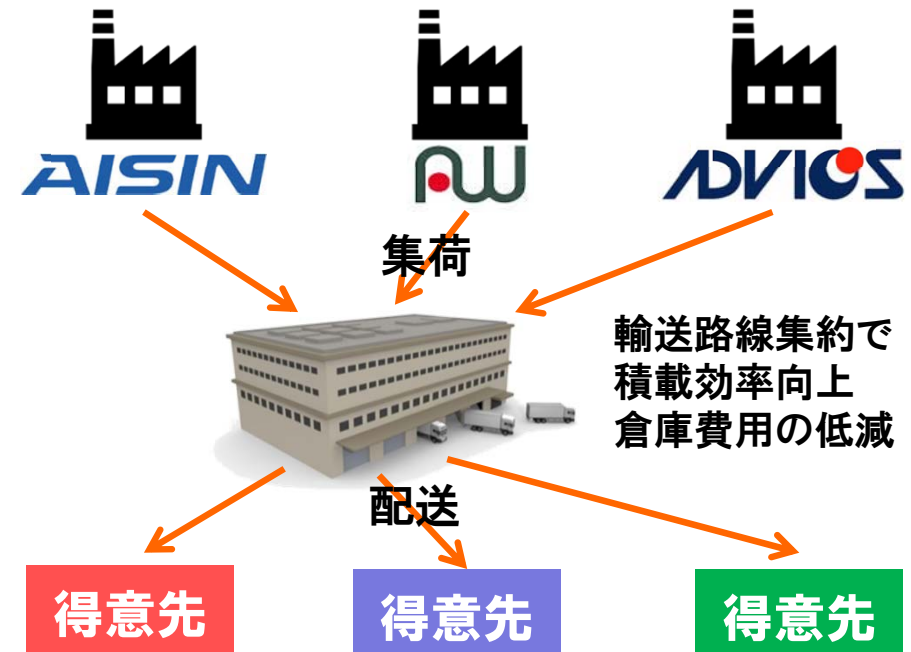
設計から生産準備まで一貫した3Dデータとシミュレーション技術の活用により、開発・生産準備期間を短縮

その他

自動化ツール・IT技術導入 など

物流費・賃借料の低減

クロスドック活用による輸送効率化



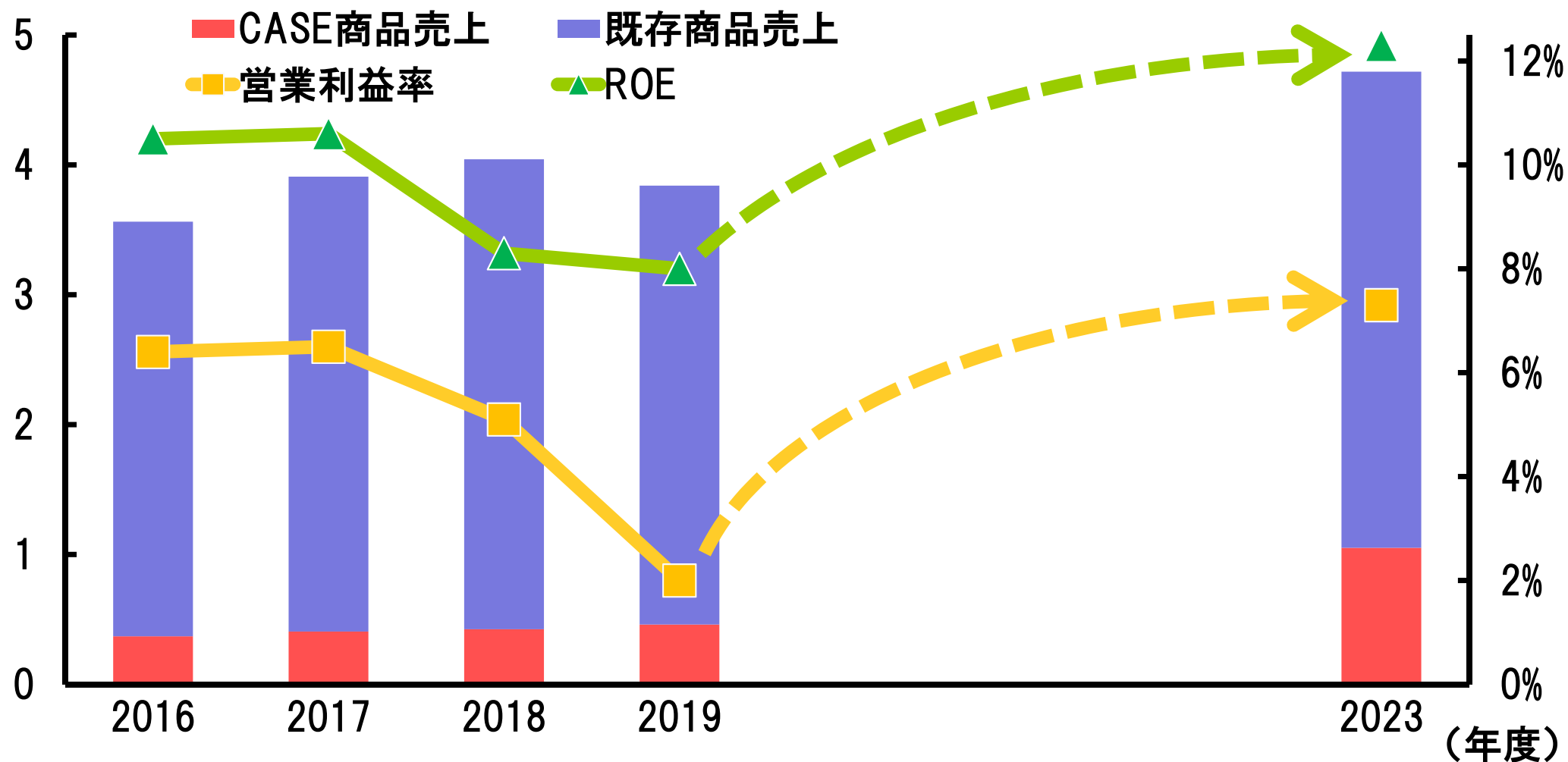
その他

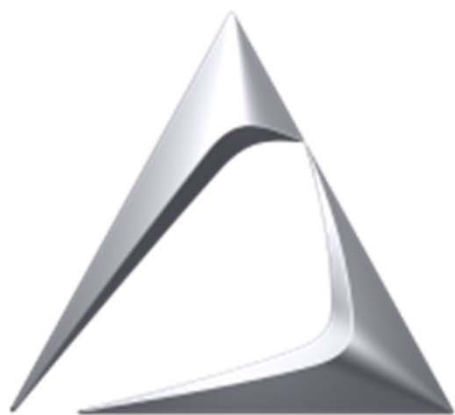
寮・社宅の運用方法の見直し など

中期経営計画達成に向けて

2019年度を底に、2023年度に営業利益率7%以上をめざす

(兆円)





For a Better Tomorrow

AISIN GROUP